

東北

野辺地

6月の県高校総体レスリング男子51キ級個人フリースタイルで優勝した野辺地西高校3年生の久保静夜選手。東北中出身の久保選手は「昨年（同じく7月27日、池川亮レ」

スリング部監督とともに東北町役場を訪れ、長久保耕治町長に活躍を報告し、間近に控えた大舞台での健闘を誓った。

久保選手は8月3日から高知市で始まる全国高校総体の試合に臨む。久保選手は「昨年（同じく野辺地西高でレスリング

全国高校総体レスリング

久保選手（野辺西）健闘誓う

をしていた）兄が出場できなかった分も、県代表として悔いのない戦いをしたい」と抱負を語った。

長久保町長は「（最軽量の）51キ級だと食べ盛り年代としてはつらいと思う。新型コロナにも細心の注意を払って、頑張って」と激励した。

7月28日には野辺地町役場を訪れ、野村秀雄町長に全国高校総体出場を報告した。（兼平昌寛）



全国高校総体での健闘を誓う久保選手（左）。右は池川監督、右は長久保町長